

# 小学校 1年 生活科

感じる  
表す

話す・聞く  
書く

育成したい  
国語力

おもしろかったこと、印象に残ったこと、伝えたいことについて書いたり話したりする。  
おもしろかったこと、印象に残ったこと、話し手が伝えたいことなどを聞き取る。

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

国語

社会

数算  
数学

理科

生活

外国語

活特別

道徳

な総合  
学習的

## 単元名

# 「あきになったね きもちがいいね」

## 本時の目標

秋の公園や野原などの遊び場へ出かけ、そこで見つけた自然物を使って遊びを工夫したり、季節が秋に変化したことを感じたりする。

<生活への関心・意欲・態度>

<身近な環境や自分についての  
気付き>

## 国語力育成の視点

友だちが見つけた遊びに興味をもたせたり、「もっとこんなことをしてみたい。」と思ったことなど、子どもたちの思いや願いを言葉で表す活動を取り入れたりすることが大切です。

1年生も後半に入るこの時期、見つけたカードに書く内容も、国語科で学んだ力を生かし、順序立てて、変化に気付きながら書かせることで表す力が育ちます。

## 視点 ①

野外での活動では、「話すこと・聞くこと」のルール作りやその定着を図る継続した取組が大切です。活動の途中でも、見つけたこと、伝えたいこと、相談したいことなどが情報交換できる場の設定が必要です。互いの活動を認め合い、価値付ける大切な場となります。

## 視点 ②

活動や体験がその場だけのものにならないために、気付いたり、思ったりしたことを書き、意識化させることが大切です。意識化する中で、さらに次の活動への意欲や気付きが生まれます。

## 導入

秋の公園や野原などの遊び場へ出かける。  
広場の約束や本時のめあてを確認する。

めあて：  
ひろばのあきを見つけて  
あそぼう！

## 展開

遊びたい自然物を見付けに行く。  
見つけたものを知らせ合う。 <情報交換>  
自然物を使って遊びながら、遊びの工夫をする。  
どんぐり(どんぐりなげ、どんぐりみつけ)  
落ち葉(ふかふかおふとん、貼り絵)  
虫(虫取り、観察)  
くつつく実(まとあて)  
花(花束、花飾り)

遊んだことや見つけた「秋」をカードに絵と文で書く。  
時間の順序にそって書き表します。 **こんどは、どんなことをしたいかも**書くと、次時の活動につながります。

自分のカードを読んで、友だちに紹介する。

## まとめ

友達の話聞いて、次の時間にもっとしたいことを出し合い、次時までの見通しと、意欲をもつ。

## 児童の作品

### あきみつけカード

1ねん くみ

なまえ( )

かえでのはっぱがおちていました。あかくて、きれいでした。ふくにつけたらブローチみたいでした。あしたは、どんぐりをたくさんあつめてみたいです。

### あきみつけカード

1ねん くみ

なまえ( )

いちょうのはっぱは、きいろでした。はっぱは、いろいろないろになるのかな。うちわのかたちになっていたよ。こんどは、ぜったいむしさがしにいきたいよ。

### あきみつけカード

1ねん くみ

なまえ( )

いしのしたに、こおろぎがいました。しずかにしていたら、なきました。はねがふるえるみたいにうごいていました。つぎにくるときは、つかまえてかえって、かいたいです。

### あきみつけカード

1ねん くみ

なまえ( )

どんぐりが、おちていました。まるくて、つるつるしてました。ころがしてあそびました。こんどは、もっとおおきなどんぐりをみつけてみたいです。